



もっとつながる。未来が動き出す。

# 2025年度 第2四半期（中間期）決算について

---

（ 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信補足資料 ）

2025年11月4日  
西日本旅客鉄道株式会社

# 1. 決算概要

## <連結決算>

(単位：億円、%)

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	対前年		2025年度通期予想		対前年 増減	対前回予想 増減
			増減	比率	前回 (8/5)	今回 (11/4)		
営業収益	8,113	8,718	604	107.4	18,200	18,360	1,280	160
（うち運輸収入）	4,346	4,657	311	107.2	9,250	9,300	373	50
営業利益	1,047	1,229	181	117.3	1,900	1,950	148	50
経常利益	985	1,151	165	116.8	1,740	1,790	133	50
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	697	867	170	124.4	1,150	1,185	45	35

## ■ 決算のポイント

### 1. 概要

- ・まちづくりプロジェクトの開業効果に加え、大阪・関西万博による増収も寄与し、**5期連続の増収増益**（経常利益・純利益）  
なお、**営業利益**は、前年大阪プロジェクト開業に伴う経費増により減益だったため、**2期ぶりの増益**

### 2. セグメント

- ・**モビリティ業、流通業**は、大阪・関西万博による増収やインバウンド需要増により、**増収増益**
- ・**不動産業**は、まちづくりプロジェクト（大阪・広島）の開業効果もあり、ホテル・SC業が好調に推移し、**増収増益**
- ・**旅行・地域ソリューション業**は、インバウンド需要の取り込みにより増収も、国内旅行事業の減により、**増収減益**

## ■ 業績予想

## ■ 株主還元

- ・中間期の決算実績を踏まえ、8月5日公表の予想を**上方修正**
- ・予定していた約500億円の**自己株式の取得を完了、全数を消却**(9/30実施)
- ・**年間配当**は、業績予想の修正と自己株式消却後の株式数を踏まえ、1株あたり86円から**90.5円に増配**

## 2. 連結損益計算書

(単位：億円、%)

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	対前年		主な増減要因	2025年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
<b>営業収益</b>	<b>8,113</b>	<b>8,718</b>	<b>604</b>	<b>107.4</b>	【5期連続の増収】	<b>18,360</b>	<b>1,280</b>	<b>107.5</b>
モビリティ業	4,959	5,278	319	106.4	運輸収入の増	10,745	277	102.6
流通業	1,022	1,191	168	116.5	物販飲食業の増	2,290	207	110.0
不動産業	1,139	1,236	97	108.5	不動産賃貸・販売業の減、SC業の増、ホテル業の増	2,930	603	125.9
旅行・地域ソリューション業	865	871	6	100.7		2,070	182	109.7
その他	127	140	12	110.1		325	10	103.5
<b>営業費用</b>	<b>7,065</b>	<b>7,488</b>	<b>423</b>	<b>106.0</b>		<b>16,410</b>	<b>1,132</b>	<b>107.4</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,047</b>	<b>1,229</b>	<b>181</b>	<b>117.3</b>	【2期ぶりの増益】	<b>1,950</b>	<b>148</b>	<b>108.2</b>
モビリティ業	731	863	131	118.0	運輸収入の増	1,280	54	104.5
流通業	76	103	26	134.8	物販飲食業の増	160	21	115.7
不動産業	220	255	34	115.6	不動産賃貸・販売業の減、SC業の増、ホテル業の増	470	80	120.8
旅行・地域ソリューション業	0	△ 9	△ 9	—		10	△ 1	88.2
その他	15	14	△ 0	95.5		35	△ 6	84.5
営業外損益	△ 61	△ 77	△ 15	—	支払利息の増	△ 160	△ 15	—
<b>経常利益</b>	<b>985</b>	<b>1,151</b>	<b>165</b>	<b>116.8</b>	【5期連続の増益】	<b>1,790</b>	<b>133</b>	<b>108.0</b>
特別損益	25	35	9	—	固定資産売却益の増	△ 25	△ 13	—
法人税等	303	304	0	100.1		520	61	113.3
親会社株主に帰属する <b>中間純利益</b>	<b>697</b>	<b>867</b>	<b>170</b>	<b>124.4</b>	【5期連続の増益】	<b>1,185</b>	<b>45</b>	<b>104.0</b>

※2024年度期末より、JR西日本の高架下貸付業の計上セグメントを「モビリティ業」から「不動産業」へ変更。前年同期の金額も、変更後の区分に基づき組み替えております。

### 3. 各セグメントの主な増減要因

(単位：億円、%)

			2024年度 中間期	2025年度 中間期	対前年		主な増減要因	2025年度 通期予想	対前年		
					増減	比率			増減	比率	
モビリティ業			営業収益	4,959	5,278	319	106.4	・万博・インバウンド需要を含む鉄道のご利用増	10,745	277	102.6
			営業利益	731	863	131	118.0		1,280	54	104.5
流通業	物販・飲食	営業収益	897	1,069	172	119.2	・駅構内店舗売上の増	2,030	213	111.7	
		【再掲: 宿泊特化型ホテル】	【115】	【130】	【14】	【112.7】	・客室平均単価の増	【265】	【25】	【110.6】	
		営業利益	67	97	29	144.3		150	31	126.7	
		【再掲: 宿泊特化型ホテル】	【20】	【32】	【12】	【161.0】		【50】	【15】	【144.9】	
	百貨店	営業収益	116	112	△ 4	96.5	・免税売上の減	240	△ 10	95.9	
		営業利益	8	5	△ 2	65.0		15	△ 4	76.8	
不動産業	不動産賃貸・販売	営業収益	624	615	△ 8	98.6	・投資家向け販売の減	1,560	333	127.2	
		【再掲: 不動産販売】	【320】	【312】	【△ 7】	【97.5】		【935】	【311】	【150.0】	
		営業利益	115	113	△ 2	98.2		195	25	115.4	
		【再掲: 不動産販売】	【25】	【35】	【9】	【138.7】	・販売利益率差	【75】	【35】	【190.5】	
	ショッピングセンター	営業収益	309	360	50	116.4	・新規開業を含むSC売上高増による賃料収入の増	790	141	121.8	
		営業利益	63	83	20	132.7		145	22	118.0	
	ホテル	営業収益	199	255	55	128.0	・客室平均単価の増、前年度開業平年度化	540	99	122.6	
		営業利益	△ 19	6	26	－		25	42	－	
旅行・地域ソリューション業			営業収益	865	871	6	100.7	・インバウンド需要による増	2,070	182	109.7
			営業利益	0	△ 9	△ 9	－	・国内旅行事業の減	10	△ 1	88.2

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

4. 単体損益計算書

(単位：億円、%)

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	対前年		主な増減要因	2025年度 通期予想	対前年	
			増減	比率			増減	比率
営業収益	4,861	5,195	333	106.9	【5期連続の増収】	10,390	397	104.0
運輸収入	4,346	4,657	311	107.2		9,300	373	104.2
運輸附帯収入	58	68	10	117.7		137	12	110.4
関連事業収入	162	174	12	107.7		352	23	107.1
その他収入	295	293	△ 1	99.4		601	△ 12	98.0
営業費用	4,036	4,271	234	105.8		9,100	345	103.9
		うち構造改革△180				うち構造改革△420		
人件費	1,029	1,070	41	104.0	単価増	2,155	79	103.8
物件費	1,967	2,114	147	107.5		4,765	161	103.5
動力費	300	316	15	105.2	再エネ賦課金の増	615	6	101.0
修繕費	622	690	67	110.9	業務波動による増	1,720	0	100.0
業務費	1,044	1,108	64	106.2	WESTER関連経費の増	2,430	154	106.8
線路使用料等	179	194	15	108.6	北幹敦賀延伸による増	390	33	109.3
租税公課	224	230	5	102.7		420	14	103.5
減価償却費	636	660	23	103.8		1,370	57	104.4
営業利益	825	923	98	111.9	【5期連続の増益】	1,290	51	104.2

※ 2024年度期末より、高架下貸付に係る収入を「運輸附帯収入」から「関連事業収入」へ変更。前年同期の金額も、変更後の区分に基づき組み替えております。

# 5. 運輸収入及び輸送人キロ

## 運輸収入

(単位：億円、%)

## 輸送人キロ

(単位：百万人キロ、%)

			2025年度 中間期	対前年		2025年度 通期予想	対前年		2025年度 中間期	対前年	
				増減	比率		増減	比率		増減	比率
新幹線	山陽	定期	62	5	108.8	—	—	—	496	37	108.1
		定期外	2,203	193	109.6	—	—	—	9,368	682	107.9
		計	2,265	198	109.6	4,544	232	105.4	9,865	719	107.9
	北陸	定期	10	1	114.4	—	—	—	74	8	113.4
		定期外	380	9	102.6	—	—	—	1,225	27	102.3
		計	391	10	102.9	794	12	101.6	1,300	36	102.9
	定期		73	6	109.6	—	—	—	571	46	108.8
	定期外		2,584	203	108.5	—	—	—	10,594	709	107.2
	計		2,657	209	108.6	5,339	245	104.8	11,166	755	107.3
在来線	近畿圏	定期	553	7	101.3	—	—	—	8,717	94	101.1
		定期外	1,044	80	108.4	—	—	—	5,362	270	105.3
		計	1,597	87	105.8	3,156	110	103.6	14,079	365	102.7
	その他	定期	105	1	101.4	—	—	—	1,749	14	100.8
		定期外	297	12	104.5	—	—	—	1,430	△ 18	98.7
		計	403	14	103.6	804	17	102.3	3,179	△ 4	99.9
	定期		659	8	101.3	—	—	—	10,466	108	101.1
	定期外		1,341	93	107.5	—	—	—	6,792	251	103.9
	計		2,000	102	105.4	3,960	127	103.3	17,258	360	102.1
合計	定期		732	15	102.1	—	—	—	11,038	155	101.4
	定期外		3,925	296	108.2	—	—	—	17,386	961	105.9
	計		4,657	311	107.2	9,300	373	104.2	28,424	1,116	104.1

※荷物収入は金額些少のため省略

6. 運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

			対前年		2025年度 中間期		
			増減	比率	主な増減要因		
新幹線	山陽	2,265	198	109.6%	基礎トレンド(101.7%)		+34
					特殊要因	・大阪・関西万博	+113
						・インバウンド需要の増※2	+23
						等	
	北陸	391	10	102.9%	基礎トレンド(98.1%)		△ 7
					特殊要因	・大阪・関西万博	+16
						・インバウンド需要の増※2	+2
等							
新幹線計		2,657	209	108.6%			
在来線	近畿圏	1,597	87	105.8%	基礎トレンド(99.3%)		△ 10
					特殊要因	・大阪・関西万博	+50
						・インバウンド需要の増※2	+23
						・バリアフリー料金収受エリア拡大	+9
						・パンダ特需	+1
		等					
	その他	403	14	103.6%	基礎トレンド(98.8%)		△ 4
					特殊要因	・大阪・関西万博	+5
						・インバウンド需要の増※2	+4
						・パンダ特需	+2
							等
在来線計		2,000	102	105.4%			
運輸収入計 ※1		4,657	311	107.2%			

※1 荷物収入は金額些少のため省略  
※2 大阪・関西万博影響との重複分含む

## 7. 設備投資（出資含まず）

（単位：億円、％）

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	対 前 年		2025年度 通期計画
			増減	比率	
連結設備投資計	902	844	△ 57	93.6	—
自己資金	882	829	△ 52	94.0	2,915
負担金	20	15	△ 5	75.3	—
単体設備投資計	486	497	11	102.3	—
自己資金	465	482	16	103.5	1,955
（再掲）（安全関連投資）	(276)	(361)	(84)	(130.5)	(1,285)
（その他）	(189)	(120)	(△ 68)	(64.0)	(670)
負担金	20	15	△ 5	75.3	—

※株式等への出資は含めておりません。

・主な設備投資件名（単体）

車両新製（N700S・岡山近郊等）、保安防災対策（地震対策）等



8. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2024年度 期末	2025年度 中間期	対前年	主な増減要因																																			
流動資産	6,173	6,479	305	販売用不動産、未成工事支出金の増																																			
現金及び預金	1,256	1,222	△ 34																																				
棚卸資産	1,811	2,192	380																																				
その他の流動資産	3,105	3,064	△ 40																																				
固定資産	31,350	31,271	△ 79																																				
有形固定資産等	26,856	26,754	△ 101																																				
建設仮勘定	782	890	108																																				
投資その他の資産	3,712	3,626	△ 85																																				
資産計	37,523	37,750	226																																				
流動負債	6,985	6,507	△ 477	<table><tr><td></td><td>2024期末</td><td>2025中間期</td><td>増減</td></tr><tr><td>有利子負債残高</td><td>15,296</td><td>15,501</td><td>205</td></tr><tr><td>【有利子負債平均金利(%)】</td><td>【1.28】</td><td>【1.36】</td><td>【0.08】</td></tr><tr><td>新幹線債務</td><td>961</td><td>954</td><td>△ 6</td></tr><tr><td>【新幹線債務平均金利(%)】</td><td>【6.55】</td><td>【6.55】</td><td>【-】</td></tr><tr><td>社債</td><td>8,454</td><td>8,409</td><td>△ 44</td></tr><tr><td>【社債平均金利(%)】</td><td>【1.09】</td><td>【1.15】</td><td>【0.06】</td></tr><tr><td>その他長期借入金等</td><td>5,880</td><td>6,137</td><td>257</td></tr></table> <div>親会社株主に帰属する中間純利益 867、自己株式消却 △499 配当 △223</div>					2024期末	2025中間期	増減	有利子負債残高	15,296	15,501	205	【有利子負債平均金利(%)】	【1.28】	【1.36】	【0.08】	新幹線債務	961	954	△ 6	【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【-】	社債	8,454	8,409	△ 44	【社債平均金利(%)】	【1.09】	【1.15】	【0.06】	その他長期借入金等	5,880	6,137	257
	2024期末	2025中間期	増減																																				
有利子負債残高	15,296	15,501	205																																				
【有利子負債平均金利(%)】	【1.28】	【1.36】	【0.08】																																				
新幹線債務	961	954	△ 6																																				
【新幹線債務平均金利(%)】	【6.55】	【6.55】	【-】																																				
社債	8,454	8,409	△ 44																																				
【社債平均金利(%)】	【1.09】	【1.15】	【0.06】																																				
その他長期借入金等	5,880	6,137	257																																				
1年内返済予定長期借入金等	1,387	1,013	△ 374																																				
未払金等	5,597	5,494	△ 103																																				
固定負債	17,736	18,253	516																																				
社債・長期借入金等	13,830	14,381	550																																				
退職給付に係る負債	1,706	1,729	23																																				
その他の固定負債	2,199	2,142	△ 56																																				
負債計	24,721	24,761	39																																				
株主資本	11,296	11,432	136																																				
資本金	2,261	2,261	-																																				
資本剰余金	1,840	1,839	△ 1																																				
利益剰余金	7,207	7,344	136																																				
自己株式	△ 12	△ 11	0																																				
その他の包括利益累計額	270	309	39																																				
非支配株主持分	1,235	1,246	11																																				
純資産計	12,801	12,989	187																																				
負債・純資産計	37,523	37,750	226																																				

{ 親会社株主に帰属する中間純利益 867、自己株式消却 △499  
配当 △223

# 9. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	対前年増減
税金等調整前中間純利益	1,011	1,186	174
減価償却費	819	863	44
その他	△ 850	△ 676	173
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>980</b>	<b>1,373</b>	<b>392</b>
固定資産の取得による支出	△ 1,125	△ 1,084	41
固定資産の売却による収入	174	187	13
投資有価証券の取得による支出	△ 28	△ 60	△ 31
その他（工事負担金等受入等）	116	75	△ 40
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 863</b>	<b>△ 881</b>	<b>△ 17</b>
<b>I + II フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>117</b>	<b>492</b>	<b>375</b>
資金調達	205	1,153	948
返済・償還等	△ 806	△ 976	△ 170
株主還元	△ 707	△ 725	△ 18
その他（グループファイナンス等）	14	11	△ 3
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,294</b>	<b>△ 538</b>	<b>755</b>
現金及び現金同等物の増減	△ 1,176	△ 45	1,131
現金及び現金同等物の期首残高	2,332	1,253	△ 1,078
新規連結等に伴う 現金及び現金同等物の増減額	—	10	10
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,155	1,219	63

# 10. 連結業績予想

(単位：億円、%)

	2024年度 通期実績	2025年度通期予想		対前年		対前回予想
		前回(8/5)	今回(11/4)	増減	比率	増減
<b>営業収益</b>	<b>17,079</b>	<b>18,200</b>	<b>18,360</b>	<b>1,280</b>	<b>107.5</b>	<b>160</b>
モビリティ業	10,467	10,695	10,745	277	102.6	50
流通業	2,082	2,200	2,290	207	110.0	90
不動産業	2,326	2,910	2,930	603	125.9	20
旅行・地域ソリューション業	1,887	2,070	2,070	182	109.7	－
その他	314	325	325	10	103.5	－
<b>営業費用</b>	<b>15,277</b>	<b>16,300</b>	<b>16,410</b>	<b>1,132</b>	<b>107.4</b>	<b>110</b>
<b>営業利益</b>	<b>1,801</b>	<b>1,900</b>	<b>1,950</b>	<b>148</b>	<b>108.2</b>	<b>50</b>
モビリティ業	1,225	1,270	1,280	54	104.5	10
流通業	138	140	160	21	115.7	20
不動産業	389	450	470	80	120.8	20
旅行・地域ソリューション業	11	10	10	△ 1	88.2	－
その他	41	35	35	△ 6	84.5	－
営業外損益	△ 144	△ 160	△ 160	△ 15	－	－
<b>経常利益</b>	<b>1,656</b>	<b>1,740</b>	<b>1,790</b>	<b>133</b>	<b>108.0</b>	<b>50</b>
特別損益	△ 11	△ 25	△ 25	△ 13	－	－
法人税等	458	505	520	61	113.3	15
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>1,139</b>	<b>1,150</b>	<b>1,185</b>	<b>45</b>	<b>104.0</b>	<b>35</b>
<b>1株当たり当期純利益（円）</b>	<b>240.08</b>	<b>244.43</b>	<b>258.12</b>	<b>18.04</b>	<b>107.5</b>	<b>13.69</b>

# 11. 各セグメントの見通し

(単位：億円、%)

		2024年度 通期実績	2025年度 通期予想	対前年		主な増減要因	対前回予想	
				増減	比率		増減	
モビリティ業		営業収益	10,467	10,745	277	102.6	・万博・インバウンド需要を含む鉄道のご利用増	50
		営業利益	1,225	1,280	54	104.5		10
流通業	物販・飲食	営業収益	1,816	2,030	213	111.7	・駅構内店舗売上の増	90
		【再掲:宿泊特化型ホテル】	【239】	【265】	【25】	【110.6】	・客室平均単価の増	【20】
		営業利益	118	150	31	126.7		25
		【再掲:宿泊特化型ホテル】	【34】	【50】	【15】	【144.9】		【10】
	百貨店	営業収益	250	240	△ 10	95.9		－
		営業利益	19	15	△ 4	76.8	・免税売上の減	△ 5
不動産業	不動産賃貸・販売	営業収益	1,226	1,560	333	127.2		－
		【再掲:不動産販売】	【623】	【935】	【311】	【150.0】		－
		営業利益	169	195	25	115.4		－
		【再掲:不動産販売】	【39】	【75】	【35】	【190.5】		－
	ショッピングセンター	営業収益	648	790	141	121.8	・SC売上高増による賃料収入の増	20
		営業利益	122	145	22	118.0		20
	ホテル	営業収益	440	540	99	122.6		－
		営業利益	△ 17	25	42	－		－
旅行・地域ソリューション業		営業収益	1,887	2,070	182	109.7		－
		営業利益	11	10	△ 1	88.2		－

# 12. 単体業績予想



(単位：億円、%)

	2024年度 通期実績	2025年度通期予想		対前年		主な増減要因	対前回予想
		前回(8/5)	今回(11/4)	増減	比率		増減
営業収益	9,992	10,340	10,390	397	104.0		50
運輸収入	8,926	9,250	9,300	373	104.2		50
運輸附帯収入	124	132	137	12	110.4	賃料改定による増	5
関連事業収入	328	341	352	23	107.1		11
その他収入	613	617	601	△ 12	98.0		△ 16
営業費用	8,754	9,060	9,100	345	103.9		40
人件費	2,075	2,155	2,155	79	103.8	単価増	－
物件費	4,603	4,740	4,765	161	103.5		25
動力費	608	630	615	6	101.0		△ 15
修繕費	1,719	1,710	1,720	0	100.0	WESTER関連経費の増	10
業務費	2,275	2,400	2,430	154	106.8		30
線路使用料等	356	400	390	33	109.3		△ 10
租税公課	405	415	420	14	103.5	北幹敦賀延伸による増	5
減価償却費	1,312	1,350	1,370	57	104.4		20
営業利益	1,238	1,280	1,290	51	104.2		10

13. 運輸収入の見通し

(単位：億円)

			2025年度通期予想				対前回予想 増減	
			対前年		主な増減要因			
			増減	比率				
新幹線	山陽	4,544	232	105.4%	基礎トレンド(100.7%)		+29	24
					特 殊 要 因	・大阪・関西万博	+130	
						・インバウンド需要の増※2	+32	
						等		
	北陸	794	12	101.6%	基礎トレンド(98.7%)		△ 10	△ 15
					特 殊 要 因	・大阪・関西万博	+18	
						・インバウンド需要の増※2	+3	
等								
新幹線計		5,339	245	104.8%				9
在来線	近畿圏	3,156	110	103.6%	基礎トレンド(99.4%)		△ 17	31
					特 殊 要 因	・大阪・関西万博	+57	
						・インバウンド需要の増※2	+33	
						・バリアフリー料金収受エリア拡大	+18	
						等		
	その他	804	17	102.3%	基礎トレンド(99.1%)		△ 6	9
					特 殊 要 因	・大阪・関西万博	+5	
						・インバウンド需要の増※2	+6	
等								
在来線計		3,960	127	103.3%				40
運輸収入計 ※1		9,300	373	104.2%				50

※1 荷物収入は金額些少のため省略  
※2 大阪・関西万博影響との重複分含む

14. 各種経営指標

(単位：％、億円、人)

	2024年度				2025年度			
	中間期		期末		中間期		期末（予想）	
連結ROA	－		4.8		－		5.1	
連結ROE	－		10.1		－		10.1	
連結EBITDA	1,866		3,495		2,092		3,790	
連結減価償却費	819		1,693		863		1,840	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数（就業人員）	45,304	21,532	45,450	21,665	47,088	22,444	－	－
金融収支	△ 90	△ 77	△ 181	△ 147	△ 97	△ 85	△ 203	△ 187
受取利息・配当金	6	21	13	52	7	28	13	44
支払利息	96	98	195	200	104	113	216	231
ネット有利子負債／EBITDA	－		4.0倍		－		－	
自己資本比率	－		30.8%		31.1%		－	
1株当たり中間(当期)純利益（EPS）	145.58円		240.08円		187.27円		258.12円	
1株当たり純資産（BPS）	－		2,458.45円		2,580.32円		－	
	2024年度				2025年度予想			
	中間		期末【年間】		中間		期末【年間】	
配当の状況	37.0円		47.5円【84.5円】		45.0円		45.5円【90.5円】	

\*「1株当たり当期純利益（EPS）」の期末予想は、2025年5月2日開催の取締役会において決議した2025年9月末までの自己株式の取得及び消却の影響等を考慮しております。

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
  - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
  - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
  - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
  - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
  - 感染症の発生・流行
  - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2025年11月4日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2025年11月4日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>